

第3回定例会(9/26)  
24年度決算で質問しました

## 「4人世帯で 年10,700円もの値上げ」

### 高すぎる国保税 前年並み繰入れすれば値上げはストップできた



狛江市でも14年間でその他繰入れをなくす計画がつけられ2年毎に保険税の値上げを行ない、昨年も値上げが行なわれました。  
40代所得300万円の子ども2人の4人世帯では、年1万700円もの値上げで42万7000円にも

**協会けんぽの倍**

18年4月から、国は「財政健全化計画」という名目で、自治体からの法定外繰入れをゼロにすることを求めてきました。

国民健康保険は高齢者、非正規雇用や自営の方が多く、高齢者が多いので医療費が多くかかります。協会けんぽのような事業者負担がなく、負担能力をはるかに超え構造的な課題を抱えています。

**2年ごとに値上げ**

私、宮坂良子は、24年度決算で国保会計について質問しました



日本共産党  
よっちゃん通信  
2025 11/3 275号

なり、協会けんぽの倍近くになっています。

**決算1億1400万円の黒字**

日本共産党市議団は予算の時、一般会計から値上げ相当分の繰入れを行い、値上げストップする組替え提案を行ないました。

決算では、歳入の保険税は376万円の増、市の繰入金金は5148万円減。歳出の保険給付費が1億9055万円の減、東京都への納付金も6521万円減となり、その結果1億1400万円の黒字でした。保険税値上げ分は419万4000円とのことでした。その他繰入れを前年度並みに繰入れていれば、値上げはストップできたということが明らかにされました。

**保険税値上げでなく、国の負担増を**

「健全化計画」という名目で、その他繰り入れ金をゼロにしていくことは、結局は保険税の値上げで市民に負担を押しつけていくことになります。

保険税の値上げではなく、全国知事会等が要望している国庫負担を1兆円に増額することです。東京市長会も国庫負担を増やすことと、東京都にも支援策を要望しています。

物価高騰が直撃しているなか、国保加入者のくらし、社会保障を守るために、市は保険税の値上げを行なうべきではありませんでした。

共産党は市民のみなさんのくらしを守るために引き続きがんばります。